

8-6 資格・CPD部会

1. 主な活動の記録

(1) 資格・CPD 部会の開催

部会開催回数：11回

(2) 資格・CPD 部会の組織

資格・CPD 部会は、技術者の能力開発と適正な資格制度の確立を目指しており、RCCM 資格制度委員会、CPD 委員会の2委員会構成されている。RCCM 資格制度委員会には自主学習システム専門委員会を設置し、CPD 委員会には集合研修調整専門委員会とCPD 監査専門委員会を設置して活動を行っている。

(3) 委員会の活動

a) RCCM 資格制度委員会

未来像 WG、試験・講習会 WG、技術者資格制度 WG を中心に活動を行った。

① 未来像 WG：建設コンサルタント業務に関する新たな資格制度の創設について検討を行い、その概要及び資格制度規程(案)を作成した。

② 試験・講習会 WG：更新講習会のWEB化に向け、移行理由、更新講習の料金、講習構成・内容、講師、規程等について検討した。次年度は、WEB化移行に向けた調整や実現に向けて検討を継続する。なお、資格試験WEB化の可能性を検討したが、時期尚早の結論を得た。

③ 技術者資格制度 WG：平成30年度の新規登録申請は、道路土工構造物(土工、シェッド・大型カルバート等)の2施設分野の点検及び診断業務、計4業務に対して、5つの技術分野について検討し、申請総数11技術分野(1業務に対し複数技術分野を申請)を申請し、全て登録された。次年度は、新規登録(追加)に加えて、平成26年度に登録した10技術分野の更新登録手続きを実施する予定である。

○ 自主学習システム専門委員会

RCCM 登録更新の際に使用する平成30年度

分の自主学習教材について、改定内容の審査、原稿のチェックを行った。自主学習教材の学習内容について、法制度、技術基準、維持・管理等の充実を図った。

b) CPD 委員会

「①CPD 監査の実施と結果の分析」、「②CPD 単位・上限値の見直し」、「③協会会員のCPD 取得支援」を中心に活動を行った。

① CPD 監査の実施

平成30年度の監査として、CPD 記録登録者の1%程度を目途に200名を対象として監査を実施した。教育形態別記録状況は、昨年同様講習会等への参加が32%と最も多く、業務経験は昨年度と比べて6%増加したが、最近の教育プログラムの選択傾向に大きな変化は見られなかった。監査結果の総括としては、新システム導入後の不慣れが解消されてきており、昨年度監査より指摘記録数が減少していることから、CPD 記録登録は概ね適正に行われていると判断できる。

② CPD 単位・上限値の見直し

CPD システムの運用に際し、WEB 講習の拡充を図るとともに、他団体との整合を図るための単位数の改定、各形態内容や全体のバランス、他団体CPD との関係も勘案したCPD 単位・上限値について見直しを行った。

③ 協会会員のCPD 取得支援

協会会員のCPD 取得を支援するため、WEB等のメディアを活用することにより、多くの会員に利用していただくことを目的として活動を行った。今年度は、会員企業のニーズ、テーマの妥当性、過年度テーマとの整合を踏まえて7つのセミナーを抽出し、協会HP上で視聴できるようにした。

2. 次年度の活動について

今年度の活動を継続実施する。なお、各委員会及び専門委員会活動の詳細は、8-6-1～8-6-5に示す。

(資格・CPD部会部会長 花岡 憲男)